



**TOKYO DENTAL COLLEGE  
ALUMNI ASSOCIATION**

# ***TDC Academia*** **2019**



主催 東京歯科大学同窓会 協力 東京歯科大学

日本歯科医師会生涯研修認定

# 患者さんを幸せにする更なる臨床力の向上を目指して

同窓会会長 矢崎 秀昭



会長 矢崎 秀昭

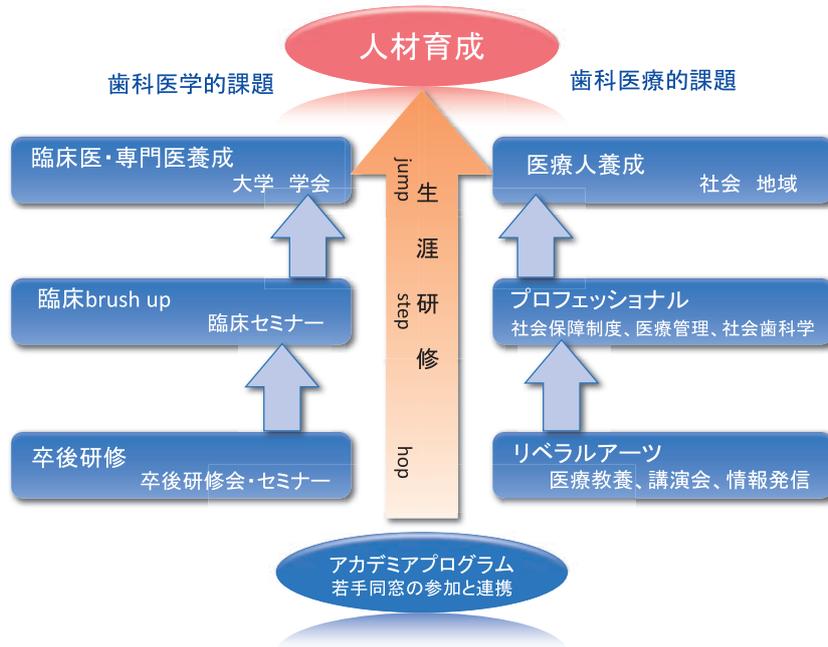
歯科医師として最も必要なことは、日々進歩している歯科医学や医療技術を学び、ご自分の患者さんや、地域社会において実践してゆくことです。TDCアカデミアでは、卒直後から自分たちの症例を通じてお互いに研修する卒後研修会を開催しています。生涯を通じて歯科医師としての生き方を様々な世代の方々と共に学び、臨床を楽しみながら、心豊かな人生を過ごすために、毎週のように夜間に開催している卒後研修会にぜひ一度参加してみることをお勧めいたします。

アカデミアプログラムでは新たに大学連携として、東京歯科大学が文科省より選定された私立大学ブランディング事業の成果の一端を、わかりやすく解説していただくセミナーを企画いたしました。

そして、新たな知識や高度な医療技術の習得のための臨床セミナーとして、小児の口腔機能や食育、歯科に特化した救急医療、インスツルメント選択と最良の歯周基本治療、注目のMIコンセプトに基づいた修復処置や、著名な講師による最新の審美領域へのインプラント埋入を実習を交えて学ぶセミナーまで、本年度の臨床セミナーは若手からベテランの方まで、ご自分の臨床をさらに進化できるプログラムとなっています。

医療教養フォーラムでは、超高齢社会が進展する中、医療の形態も変化してきています。歯科医療、歯科医師はどのような役割を果たすべきか？ 皆様と共に考えてみたいと思います。

臨床のみならず人間性豊かで社会性のある歯科医師になれるよう、生涯研修の場をつくり、各分野からの技術、情報、知識、教養を提供いたします。



幅広い分野で活躍できるような人材育成を明確な目標とし、母校での質の高い大学教育を引き継ぎ、卒後の生涯研修のためにアカデミアとして応援していこうという構想です。研修は、歯科医学的課題と歯科医療的課題とを包括的かつ総合的な視点で捉えております。卒後研修では、研修医・卒後の若い先生方が診査・診断、情報収集、治療計画立案、プレゼンテーションといった生涯研修を進める上での基本部分が身につけられます。臨床レベルの向上ならびに専門性の高い技術習得には臨床セミナーを活用していただき、日々の臨床にお役立て下さい。またリベラルアーツでは、医療教養としての知識を講演会を通じて学べ、さらには社会制度の研究や情報提供を通じて、患者さんや社会から望まれる歯科医師像をめざすことを目標としています。

アカデミアプログラムには、hop→step→jumpとして目標設定と継続性を示しておりますが、順番や年齢制限はありません。生涯研修の場としてこのアカデミアを捉えていただき、確固たる臨床医として、医療人となるべく同窓会は支援いたします。

# 卒後研修 「症例を診て、考えて、楽しむ勉強会！」



セミナーや学会には行くけど勉強会は参加したことがない方、一度参加してみませんか！

提示された症例について色々と話を聞いてみたい、困っている自分の症例を相談してみたいと思っている方にとっても参考になる勉強会です。

様々な症例を通じて意見交換し、臨床の現場における引き出しをみんなで増やしていきましょう！

## 症例を通じて Hop、Step、Jump！

1. Hop : 症例(患者)を診るって 何を診ればいいの？
2. Step : 患者の情報って 何を聞いて 何を考えるの？
3. Jump : 治療方法の引き出しを増やすには何をすればいいの？

同窓会学術委員会では以下の3つの勉強会があり、いつ、どこに参加してもOKです。

また、人前で話すのが苦手な方は、慣れるまでは無理に発言等していただくことはありませんので気軽に参加して下さい。

### 参加無料

東京歯科大学水道橋校舎南棟6F会議室

#### TDC 卒後研修倶楽部

第2水曜日 19:30～

なぜ、この患者さんは計画通りに進んだのに、あの患者さんは計画通りに進まないのだろうって思ったことはないですか？ その原因を様々な症例から疑似体験し、臨床の現場での直感力や、具体的な診療方法をやしなえる勉強会になっています。

是非、ご参加ください！

#### デンタルスタッフミーティング

第3水曜日 19:30～

症例に悩んだ時に「みんなも悩んでいるのか？」「自分だけが悩んでいるのか？」って思ったことはないですか？ そのような経験をお持ちの方におすすめです。

様々な症例から疑似体験をすることで、参加している方の色々な考え方を勉強できる会になっています。

#### 卒研症例検討会

第4木曜日 19:30～

経験豊富な先生方から1歯単位から口腔内全体を診断するために必要なことを講演として聞けます。

参加者の症例を通じて意見交換をすることで、経験者がどのようなことを考えているかを学べる勉強会になっています。

# 実際どんなことをしているの？

## TDC 研修倶楽部・デンタルスタッフミーティング・卒研症例検討会

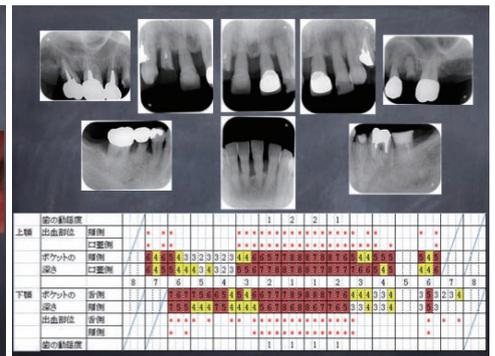
その悩み、みんなで共有し、ディスカッションし、解決していきませんか！

歯科治療には治療の方程式はありません…だからみんな悩むのです。内容こそ違いますが、経験年数に関わらず感じることはないでしょうか。だからこそ生涯研修が重要です。中でもプレゼンテーションとディスカッションは、そんな悩みを解決するとても大切なツールと考えます。あなたの悩みをみんなで共有し、ディスカッションし、解決していきませんか。

### — 実際どのようなことしているのか…ここでは実際に行われた症例を紹介します —

#### 症例1 ～どのようにゴールまで導きますか～

- 必要な情報は
- 根拠のある診断とは
- 治療方針はどのように立案しますか
- 実際の治療方法は
- どのような経過を予測できますか
- そして経過は  
などなど…



#### 症例2

#### ～デンタルX線写真1枚からどのような情報を得られますか～

- デンタルX線写真には様々な情報が詰まっています。
- 撮影、読像が高いレベルでできるようになると、日々の臨床での診断能力は飛躍的に向上します。



### 様々なテーマで講演も開催いたします

プレゼンテーションとディスカッションが勉強会の中心ですが講演も企画しています。

2017年は「インプラント」、「総義歯」

2018年は「歯周基本治療」、「再生療法」、「審美修復」の講演を開催いたしました。



### 事前配信いたします

一度3勉強会のどれかに参加すればメーリングリストに登録し、事前に次回の内容を知ることができます。皆様のご参加、同窓会学術委員一同お待ちしております。

# 「歯学研究最先端」

## ～東京歯科大学「顎骨疾患プロジェクト」からの医療情報提供～

平成29年度に東京歯科大学は文部科学省の「私立大学研究ブランディング事業」に「顎骨疾患の集学的研究拠点形成：包括的な顎口腔機能回復によるサステナブルな健康長寿社会の実現」が選定されました。本年で3年目を迎える本事業に関連して、地域医療に邁進されている臨床医の先生方に日常臨床のヒントや医療情報の理解に役立つ情報を発信する場を企画いたしました。

- 「よく耳にするiPS細胞ってそもそも何?」「歯科臨床に役立つものなの?」
- 「歯周病のマイクロバイームとは?」
- 「味覚は脳でどのように感じているの?」「認知症になると味覚はどう変化するの?」
- 「前フレイル期からの機能回復ってどうやったらできるの?」
- 「医療におけるVR技術は今どこまで来ているの?」 などなど…。

聞いたことはあるけど、具体的にはわからない??  
今どうなっているのを知りたい! に、最先端の研究を行っている専門分野の講師が、優しく解説いたします。明日からの、患者さんとのコミュニケーションが楽しくなるアカデミカルな1日です。

### 「楽しもう、リサーチマインドのアップグレード」

山口 朗 (東京歯科大学 口腔科学研究センター)

### 「咀嚼・嚥下機能の恒常性維持と低下：老化のメカニズムを紐解く」

阿部 伸一 (東京歯科大学 解剖学講座)

### 「歯周組織再生の現在とこれから－バイオフィルムコントロールの先にあるもの－」

齋藤 淳 (東京歯科大学 歯周病学講座)

### 「おいしく味わい、楽しくおしゃべりしている時、私たちの脳はどんなふうに活動しているのか」

後藤多津子 (東京歯科大学 歯科放射線学講座)

### 「デジタルデンティストリーをより身近に－3Dプリンタ・ヴァーチャルリアリティ技術の応用－」

菅原 圭亮 (東京歯科大学 口腔病態外科学講座)

### 「近年の再生医療事情－幹細胞ってどんなもの?」

小野寺晶子 (東京歯科大学 生化学講座)

日時：2019年5月12日(日) 13:00～16:30

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館11F

定員：80名 受講料：無料



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

<b>「歯学研究最先端」</b>	
ふりがな	出身校 ( 大学)
ご氏名	( 年卒)
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)
住所	〒
TEL	FAX
E-mail	
ご勤務先名	

(キリトリ線)



山口 朗

1974年 東京歯科大学卒業  
 1979年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科修了  
 昭和大学歯学部口腔病理学教室 講師  
 1998年 長崎大学歯学部口腔病理学講座 教授  
 2002年 東京医科歯科大学大学院口腔病理学  
 分野 教授  
 2015年 東京歯科大学口腔科学研究センター  
 客員教授

【主な著書】

「骨形成と骨再生」59-68、口腔外科ハンドマニュアル  
 09 (日本口腔外科学会編)  
 「骨生物学の新たな潮流：オステオネットワークの  
 獲得・維持・破綻、107-118、口腔と全身の健康」  
 「BMA (Bone-modifying agents) による顎骨壊死、  
 口腔外科ハンドマニュアル2013、(日本口腔外科学  
 会編)」



阿部伸一

1989年 東京歯科大学卒業  
 1993年 東京歯科大学大学院修了 (歯学博士)  
 1994年 ドイツベルリン自由大学留学  
 2010年 東京歯科大学解剖学講座教授 (現在)



齋藤 淳

1989年 東京歯科大学卒業  
 1993年 東京歯科大学大学院歯学研究科修了  
 博士 (歯学)  
 1994年 日本歯周病学会歯周病専門医  
 米国 New York 州, State University of  
 New York at Buffalo, Dept. of Oral  
 Biology  
 客員研究員 (Director: Prof. Robert J  
 Genco)  
 1998年 東京歯科大学歯科保存学第二講座  
 (現歯周病学講座) 講師

2007年 東京歯科大学口腔健康臨床科学講座講師  
 2011年 東京歯科大学歯周病学講座主任教授

【主な著書】

「歯周病学最前線」(分担執筆)・「成功する歯周組織  
 再生治療」(分担執筆)・「歯科衛生士講座 歯周病学  
 第3版」(編著)・「よくわかる歯科小手術の基本ー  
 抜歯から歯周外科まで」(編著)・「糖尿病における  
 multimorbidity」(分担執筆)・「1336 専門家による  
 私の治療 2017-18 年度版」(分担執筆)・「口腔衛生学  
 2018」(分担執筆)



後藤多津子

1988年 九州大学歯学部卒業  
 1992年 九州大学大学院博士課程歯学研究科修了  
 1992年 九州大学歯学部口腔外科学講座  
 1992年 九州大学病院歯科放射線科  
 1993年 The University of British Columbia,  
 Canada, Faculty of Dentistry, Oral  
 Biology, Postdoctoral Research  
 Fellow.  
 1995年 The Hospital for Sick Children,  
 University of Toronto, Canada,  
 Faculty of Medicine, Diagnostic

Imaging, Clinical Observer.  
 1996年 九州大学病院医員 (歯科放射線科)  
 2009年 九州大学病院講師 (口腔画像診断科)  
 2010年 Associate Professor and Chairman,  
 Oral Radiology, Oral Diagnosis &  
 Polyclinics, Faculty of Dentistry,  
 The University of Hong Kong.  
 2015年 東京歯科大学歯科放射線学講座主任教授  
 Honorary Professor, Faculty of  
 Dentistry,  
 The University of Hong Kong



菅原圭亮

2004年 東京歯科大学卒業  
 2004年10月～2009年3月  
 独立行政法人 放射線医学総合研究所 (現・  
 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発  
 機構) 客員協力研究員  
 2008年 東京歯科大学大学院歯学研究科修了  
 博士 (歯学)  
 2008年 東京歯科大学口腔外科学講座レジデント  
 2009年 東京歯科大学口腔外科学講座助教  
 2015年 東京歯科大学口腔病態外科学講座講師

【主な著書】

「オーラルバイオロジー―病態から学ぶ歯科基礎医学  
 ー」(翻訳)  
 「ポケット版 多職種連携で活用！ 歯科衛生士のため  
 の医療用語・福祉用語」(分担著者)  
 「どこをみる？なにがわかる？口腔粘膜疾患色別ガ  
 イド [知識編・実践編] 口腔粘膜疾患を4色で知る！  
 ー 歯科衛生士」  
 「すぐひける、現場で役立つ 歯科衛生士のためのポ  
 ケット版 最新歯科用語辞典」(分担著者)



小野寺晶子

2006年 東京歯科大学卒業  
 2012年 東京歯科大学大学院歯学研究科修了  
 博士 (歯学)  
 2012年 東京歯科大学学生化学講座助教  
 2015年 東京大学大学院工学系研究科客員研究員  
 2017年11月 東京歯科大学学生化学講座講師

from patients with human cleidocranial dysplasia  
 improves bone regeneration in a rat calvarial  
 bone defect model. Saito A, Ooki A, Nakamura T,  
 Onodera S, Hayashi K, Hasegawa D, Okudaira T,  
 Watanabe K, Kato H, Onda T, Watanabe A, Kosaki  
 K, Nishimura K, Ohtaka M, Nakanishi M, Sakamoto  
 T, Yamaguchi A, Sueishi K, Azuma T. Stem Cell  
 Research & Therapy 2018 vol: 9 (1) pp: 12

【主な論文】

・ Multi-layered mutation in hedgehog-related genes in  
 Gorlin syndrome may affect the phenotype. Onodera  
 S, Saito A, Hasegawa D, Morita N, Watanabe K,  
 Nomura T, Shibahara T, Ohba S, Yamaguchi A,  
 Azuma T. PLoS One 2017,12(9):e0184702.  
 ・ Targeted reversion of induced pluripotent stem cells

・ Gorlin syndrome-derived induced pluripotent stem  
 cells are hypersensitive to Hedgehog-mediated  
 osteogenic induction Hasegawa D, Shino H,  
 Onodera S, Nakamura T, Saito A, Watanabe K,  
 Onda T, Nishimura K, Ohtaka M, Nakanishi M,  
 Kosaki K, Yamaguchi A, Shibahara T, Azuma T. PLoS  
 One 2017, 12 (10) : e0186879

## 「口腔機能の発達を紐解く～食べる・話す・呼吸する～」

「うちの子は歯が生えているのに丸呑みをしているが、どうしたらいいのでしょうか？」と相談されたら、どうしますか。

乳歯列期は口腔機能が形成される大切な時期です。理想的な永久歯列につなげるためにも、こどもの食べる・話す・呼吸する機能を理解し、口腔機能の発達を診ていくことは、かかりつけ歯科医としてとても重要です。

こどもに食を選択させる力を育てるためには、食べる喜びを知り、健全な食生活を身につけさせる生活習慣の指導も平行して行うことが必要です。乳児期は吸啜によって幼児期の咬合に影響する筋肉が発達します。やがて離乳期には食機能を獲得するような離乳食をあたえ乳歯列期の咀嚼能力を高めます。子供に何をどのように食べさせるのか、栄養素や食品の摂取量、食形態や噛みごたえは、今後の咀嚼機能の獲得へと繋がります。

また、混合歯列期で、顎が小さく、歯の叢生傾向が見られるような場合の対応として、口腔筋機能療法 (MFT) による歯列の改善についての理解も必要です。

本セミナーでは、小児口腔機能管理を実践するために、どのようなアプローチをすべきかについて、解剖・摂食嚥下管理・歯科矯正そして管理栄養士の各視点から口腔機能を健全に発達させるための基礎を学ぶために企画しました。

歯科医師のみならず、すべての歯科医療関係者に受講していただきたいセミナーです。

- 講師：阿部伸一 (東京歯科大学 解剖学講座)  
 川口美喜子 (大妻女子大学 家政学部食物学科)  
 大久保真衣 (東京歯科大学 口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室)  
 立木千恵 (東京歯科大学 歯科矯正学講座)

日時：5月26日(日) 9:00～16:30

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館11F

定員：60名

受講料：歯科医師：2万円 その他：1万円

- 講演内容：・各機能不全の原因について      ・食育について  
 ・機能訓練について                              ・口腔周囲筋の解剖について  
 ・嚥下について                                      ・MFT

※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。



お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

小児口腔機能・食支援セミナー	
ふりがな	出身校 (                                      大学)
ご氏名	(                                      年卒)
ご連絡先 自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
住所 〒	
TEL	FAX
E-mail	
ご勤務先名	



## 阿部伸一

1989年 東京歯科大学卒業  
 1993年 東京歯科大学大学院修了(歯学博士)  
 1994年 ドイツベルリン自由大学留学  
 2010年 東京歯科大学解剖学講座教授(現在)  
 2017年 日本学校歯科医会 口腔機能健全育成委員会 委員長

口腔機能健全育成委員会 委員長

“正しい口腔機能”を身に付けるためには、食事のときの「噛みかた・飲みこみかた」はもちろん、呼吸法、授業中の姿勢など、日頃の“習慣”が関係します。そして正しい習慣が、効率よく機能するために必要な顎・歯列・咬合をつくりあげます。

本講演では咀嚼・嚥下・呼吸などの口腔機能について、動画も含めてわかりやすく説明するとともに、子供に指導すべき内容、保護者等からの相談に対する回答のヒントについて解説します。



## 川口美喜子

1981年 大妻女子大学家政学部食物学科管理栄養士 専攻卒業 管理栄養士取得  
 1993年 島根医科大学研究生(第一内科) 終了 博士(医学)学位取得  
 1996年~2004年 島根大学医学部附属病院第一内科 文部教官

2013年4月 大妻女子大学 家政学部教授  
 島根大学医学部 臨床教授、特別協力 研究員  
 2014年4月 東京農工大学農学部講師(非常勤)  
 2015年4月 お茶の水女子大学講師(非常勤)

小児は自分の意思を伝えることやコミュニケーションが充分に取れず指示に従えない時期にあり経験を積むことにより食べる機能を獲得する。食事は生活や育児の基盤であり、生きるための栄養摂取とともに食べる楽しさを感じことも大切である。そして、食事を通して周囲とのコミュニケーションや社会性の獲得を向上させる。楽しい食事の経験を通して好奇心や食べる意欲を育て、新しいものにチャレンジし高度な機能を身に付けるように促す。障害のある子ども同様に子供全体をしっかりとみて、上手に食べさせるのではなく、楽しく食べる意欲を最大限に引き出し、摂食嚥下の機能向上につなげることが大切である。



## 大久保真衣

1999年 東京歯科大学卒業  
 2003年 昭和大学大学院歯学部口腔衛生学修了  
 2010年 米国、フロリダ大学、文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン海外視察研修  
 2014年 英国、クィーンマーガレット大学研究留学  
 2017年 東京歯科大学口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室准教授

摂食嚥下リハビリテーション学会認定士  
 日本老年歯科医学会認定医制度指導医、摂食機能療法 専門歯科医師  
 日本障害者歯科学会指導医

小児の口腔機能発達は今まで一度も獲得されていない機能を獲得していくことです。これは、だれでも機能発達過程として行うことです。例えば、自転車の補助輪を外すのに、簡単に出来た子と大変だった子がいたように、口腔機能発達も様々です。その過程で、間違っただけでもったり、専門家が診た方が良かったりする場合もあるかもしれません。そこで定型発達の口腔機能が各成長ステージにおいてどのような発達変化するのか、食行動に関係する精神的要因や療育環境についても説明を行い、歯科としてどのように管理していけばいいのか一緒に考えられたら幸いです。



## 立木千恵

2006年 東京歯科大学卒業  
 2007年 東京歯科大学歯科矯正学講座入局  
 2017年 東京歯科大学歯科矯正学講座講師

日本口腔筋機能療法(MFT)学会 理事  
 日本矯正歯科学会 認定医

口腔機能の異常が歯列の不正をはじめとして顎顔面の発育にさえも影響をもたらすことは近年注目されております。口呼吸、安静時の舌癖、咬唇癖、異常嚥下癖などの機能異常がこれらの形態異常をもたらす一方で、開咬、上顎前突、下顎前突などの歯列不正もまた機能異常をもたらす要因ともなり、これを放置しておくことは重度な不正咬合を招く要因となります。このため成長発育期において口腔機能異常の排除は大変重要であると考えられます。

このような口腔習癖への対応策の一つとして、口腔筋機能療法(MFT)があります。本講演では主に顎顔面の成長発育期にあたる混合歯列期にスポットをあて、MFTの実践を含めた内容をお話させていただきます。

## 「ハンドスケーラー VS 超音波スケーラー」 ～「最良」の歯周基本治療！！～

今日、成人の約8割が歯周病に罹患し、全身の健康との関連も指摘されています。

歯周治療はそれ自体の治療にとどまらず、補綴治療、審美修復、更にインプラント治療の前処置としてしっかりと終えておくべき歯科治療の基本といえます。歯周基本治療を高い水準でおこなうことで、歯周外科や再生療法を回避できたり、歯周外科の予後の向上に繋がったり、良好なメンテナンスを継続することができます。

歯周基本治療に用いるインスツルメントはスケーラー。皆さんはハンドスケーラーと超音波スケーラーを日々どのように使用していますか。正しい理解はされていますか。ハンドスケーラーは、細かい歯石まで除去することができる反面、熟練度によって成果に差が出るといわれ、超音波スケーラーは術者の熟練度に関係なく大まかな歯石の除去に効率的といわれております。しかしはたして本当でしょうか。

本セミナーでは、ハンドスケーラーと超音波スケーラーを「どのように選び・いつ・どのように使うか」をあらためて学び、理解することで「なんとなく使っている」を「こう使う！」に変えようではありませんか！

また、お二人の講師によるハンドスケーラーVS超音波スケーラーのディスカッションも予定しています。それによりスケーラーの「よりよい使い方」や「使い分け」がより鮮明にご理解いただけます。

明日からの臨床にすぐ取り入れられる、「最良」の歯周基本治療を今こそ学んでみませんか。

歯科医師のみならず、多くの歯科衛生士の方に受講していただきたいセミナーです。

講師：牧野 明(富山県開業)  
大野 純一(群馬県開業)



日時：7月21日(日)9:30～16:30  
場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館11F  
定員：60名  
受講料：歯科医師：2万円 その他：1万円

- 講演内容
- ・ 歯周基本治療で治る！ 歯周基本治療で治す！
  - ・ ハンドスケーラー再考
  - ・ 超音波スケーラー総論
  - ・ 超音波スケーラーどのように選び・いつ・どのように使うか
  - ・ ハンドスケーラーVS超音波スケーラー ディスカッション



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

歯周基本治療セミナー	
ふりがな	出身校 ( 大学)
ご氏名	( 年卒)
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)
住所 〒	
TEL	FAX
E-mail	
ご勤務先名	



牧野 明

1959年 富山県生まれ  
 1984年 東京歯科大学卒業  
 1987年 まきの歯科医院開業  
 2000年 医療法人社団まきの歯科医院

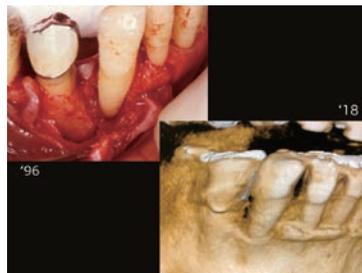
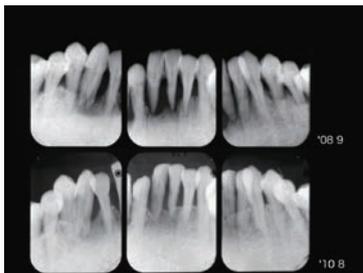
日本歯周病学会 専門医・指導医  
 日本臨床歯周病学会 認定医・指導医  
 臨床歯科を語る会会員  
 スタディグループ富山劔の会 主宰

(社)高岡市歯科医師会(専務理事)  
 日本歯周病学会研修施設

【著書】「歯周基本治療で治る! 歯周基本治療で治す!」  
 【編著】「育もう! 歯周病検査力 DH Style 増刊号 2011年」  
 「根分岐部病変~臨床対応とエビデンス~ 歯界展望 2015年別冊」  
 【著文】「質の高い歯周基本治療を目指して」

歯周基本治療は適応症を選びません。有病者、高齢者、妊婦その他、歯周基本治療に禁忌症はないと言っても過言ではなく診療室を訪れる大半の患者さんに適応が可能です。また、質の高い歯周基本治療の結果、歯周外科をする前に多くの歯周病がコントロール可能となり、さらに歯周基本治療によって歯周外科にはない利点も多く見られるようになります。その主役はルートプレーニングと考えています。

多くの臨床例と経過観察から、質の高い歯周基本治療の意義とその威力を検証してみたいと思います。



大野 純一

1968年 群馬県生まれ  
 1993年 東京歯科大学卒業  
 1993-1997年 東京医科歯科大学歯周学教室  
 1997-2000年 スウェーデン・イエテボリ大学専門医課程  
 2000-2001年 同大学カリオロジー学教室客員研究員  
 2003年一現在 大野歯科医院

スウェーデン公認歯周病専門医 (パブリックデンタルサービスおよびイエテボリ大学より)

デンツプライ・シロナ社より Global Speaker  
 メディカルダイアログ共同代表(コースディレクター)  
 ロジカル・プランニングセミナー(コースディレクター)

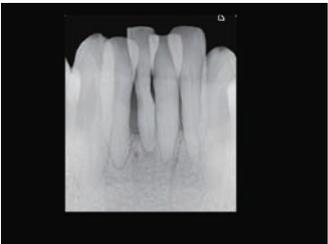
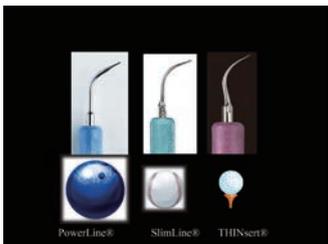
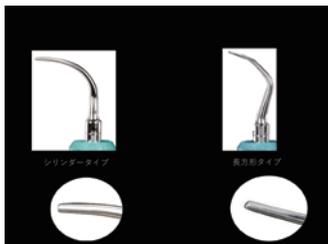
【著書】  
 「では、予防歯科の話をしようか」(医歯薬出版)  
 「メディカルダイアログ入門」(分担執筆)(医歯薬出版)  
 「ウルトラソニック・インスツルメンテーション」(分担執筆)(医歯薬出版)

皆さんは超音波スケーラーに関して、どの程度学ぶ機会があったのでしょうか?

ひょっとしたらそれぞれの術者が試行錯誤で超音波スケーラーを使用しているのが現状ではないのでしょうか?

歯科臨床において我々が常に気を配らなければならないチェックポイントが3つあると思います。1つ目は1)効果的か? 次に2)効率的か? そして患者、術者双方にとって3)快適か? という点です。新しいテクノロジーや材料、術式に対してはこれを満たさなければ決して進歩をしたとはいえません。

さて、世界的にみて歯周病治療における超音波スケーラーの役割は、1990年代半ばにおけるチップのスリム化、そして根面のインスツルメンテーションに対する生物学的・臨床的な知見の積み重ねで、この近年劇的な変化を遂げました。私の卒業した頃から見ると隔世の感があります。現時点において超音波スケーラーがどの程度効果的か、効率的か、そして快適かについて、研究データと臨床経験を元にお話していこうと思います。



# ベーシックハンズオンセミナー

東京歯科大学同窓会

## 「すぐに役立つ臨床のコツ」 ～実践スキルの向上 補綴、矯正、ペリオ、口腔外科編～

臨床研修中の先生や臨床に出て間もない先生は、得られた知識や技術を駆使して日々臨床に取り組んでいらっしゃると思います。その一方で臨床経験が短いゆえに手技に対する不安もあるのではないのでしょうか。

そこで実践スキルの向上に特化し、テンポラリークラウンの作製、補綴設計、豚顎骨を用いたより実践に近い形での歯肉剥離手術（フラップ手術）と縫合、抜歯、歯肉縁下になった歯根の挺出法（MTM）を、分野ごとにブースに分け少人数のテーブルクリニック形式の実習を通して学びます。本セミナーを受講して、不安を自信に変えていただきたいと思います。

昨年大好評だったセミナーの第二弾です。明日からの臨床にすぐに役立つセミナーですので是非この機会に受講しませんか。お待ちしております。

講師：学術委員

日時：6月30日（日）9：00～16：30

場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館11F

定員：60名

受講料：1万5千円（器材費込）

実習内容：補綴1	テンポラリークラウンの作製
補綴2	補綴設計の考え方
ペリオ	フラップ手術（切開、剥離、縫合） 豚顎骨使用
口腔外科	抜歯・縫合 豚顎骨使用
矯正（MTM）	エクストルージョン

\*本セミナーはテキストをWEB上からダウンロードしていただきます。つきましては、個人のE-mailアドレス登録が必須となりますので必ずご記入下さい。

当日はダウンロード済みのPC、タブレット等をお持ちください。

\*実習に際し、ご準備いただく器材がございます。

（同窓会からの器材の貸し出しはありません）



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

ベーシックハンズオンセミナー	
ふりがな	出身校（大学）
ご氏名	（年卒）
ご連絡先 自宅・勤務先（どちらかに○をしてください）	
住所 〒	
TEL	FAX
必須 E-mail	
ご勤務先名	

分野ごとのブースに分け、少人数のテーブルクリニックを組み合わせた実習形式臨床テクニックの悩みを解消し、実践スキル向上を目指す内容となっています。

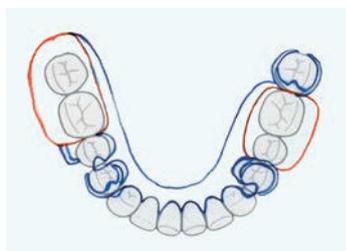
## 実際の歯科臨床においては、実践的な技術が伴っていないことを感じてないでしょうか？

一口腔単位での臨床診断や、治療計画の立案説明、実際の治療などを時間的制約がある中で的確に行うことは難しいものです。そんなプレッシャーを感じる前に、口腔外での擬似的体験を通して、日常臨床の一助にさせていただきたいと思います。



### テンポラリークラウンの作製

短時間で作製できますか？  
いろいろな作製方法を取り入れる



### パーシャルデンチャー設計の考え方

欠損の進行から設計を考えられますか？  
欠損歯列を患者情報・口腔内状況から予測し、  
設計の考え方を取り入れる



### フラップ手術

切開、歯肉弁の剥離ってどうやるの？  
切開線の設定とデブライドメントのコツ  
(豚顎骨実習)



### 抜歯・縫合

抜歯・縫合の基本を取り入れる  
(豚顎骨実習)



### MTM

エクストルージョン  
装置の実際、何に気を付ければいいのか？  
(石膏模型実習)



是非、この機会に少しでも臨床の現場で悩まない「臨床のコツ」を身に付けてください。

# 保存修復セミナー

東京歯科大学同窓会

臨床セミナー  
実習型

保存修復セミナー

## 「MIのコンセプトに基づいたコンポジットレジン修復」 ～最小限の侵襲、適切な接着技法、きれいな充填を目指して～

接着性コンポジットレジン (CR) による充填処置は、日常臨床において毎日のように行われております。

CRそのものは歯質とは接着しません。適切な接着システムを選択し、適切な手順で接着操作を行うことが重要です。ボンディングの接着効果に重要なのは湿度。ラバーダム防湿により、臼歯部の相対湿度が100%から40%台にまで下がり、接着効果は向上します。接着技術の向上によりMI (minimal intervention) が可能となりました。歯科臨床において低侵襲医療を目指すことは歯の保存のみならず、歯の寿命の延伸にも不可欠です。近年臼歯部領域でもCR充填修復を選択することが可能となりました。一方で、CR充填する際、色合わせがなかなか思ったようになかったり、CRの部分だけが浮いてしまったりした経験はありませんか。

本セミナーでは、適切な環境下で接着する技法を1から見直します。さらに失敗しないCR充填修復治療を、天然歯に近い色調を出すためのレイヤリングテクニックも含めて習得して頂きます。

講師：村松 敬  
(東京歯科大学 保存修復学講座)  
亀山 敦史  
(東京歯科大学 保存修復学講座)



日時：9月1日(日) 9:30～16:30  
場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館11F  
定員：30名  
受講料：5万円(器材費込)  
4万5千円(前年度同窓会費納入者)

講演内容

- ・病理から見た保存修復治療
- ・マテリアルサイエンスから見た接着の基礎
- ・MI修復臨床について
- ・メタルフリー修復について

実習内容

- ・抜去歯を用いたCR積層充填実習
- ・マネキンを用いたⅡ級窩洞修復実習

※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。



お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

### 保存修復セミナー

ふりがな	出身校 (	大学)
ご氏名	(	年卒)
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
住所	〒	
	TEL	FAX
	E-mail	
ご勤務先名		



村松 敬

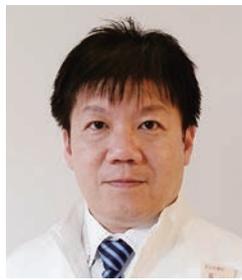
- 1991年 東京歯科大学卒業
- 1995年 東京歯科大学大学院歯学研究科修了博士(歯学)  
東京歯科大学病理学講座助手
- 1998年 東京歯科大学病理学講座講師
- 1999年 アメリカハーバード大学歯学部口腔診断学講座に留学
- 2011年 鶴見大学歯学部病理学講座准教授
- 2013年 東京歯科大学歯科保存学講座教授
- 2017年 東京歯科大学保存修復学講座主任教授

- ・日本歯科保存学会 理事 専門医・指導医
- ・日本臨床口腔病理学会 評議員 専門医・指導医
- ・日本臨床細胞学会 細胞診専門歯科医
- ・死体解剖医
- ・介護支援専門員
- ・臨床研修指導歯科医

疾患には必ず原因、経過、現在、転帰があり、原因を除去することができれば疾患は治癒へと向かう、というのが基本的な治療の考え方で、これは齲蝕についても同様です。すなわち口腔内細菌の感染が原因であり、原因である感染菌質を除去し、再感染防止のため修復を行っているのです。これが齲蝕に対する基本的な治療の概念です。

この考えから齲蝕治療を見直してみると、従来の治療では着色した部分を徹底的に除去して修復する治療が基本でしたが、そのために感染していない健全な歯質の切削が必要でした。近年では齲蝕研究の発展と歯科接着技法や材料の進歩に伴って、上記の“原因除去”、“再感染防止”を実践することが可能となりました。すなわち原因を最小限の侵襲で除去する治療(minimal intervention dentistry; MI dentistry)が可能となり、修復物を接着させることにより再感染を防止することが実現可能となりました。さらには審美的にも天然歯に近い色調を可能とする技術も開発されてきました。

そこで本セミナーでは前半にMI dentistryとしての修復治療を感染除去、再感染防止といった病理学的観点から検討するとともに、材料学的観点からも具体的に再感染させないためにはどうするか、感染してしまった場合にはどうするかを解説し、齲蝕に対する保存修復治療の現状を講演します。後半は最小限の侵襲で行う接着性コンポジットレジン修復の技法と修復物を正しい技法・環境で接着する技法、さらには審美的に天然歯に近い色調を出すためのレイヤリングテクニックを実習で習得して頂く予定です。



亀山敦史

- 1997年 東京歯科大学 卒業
- 2001年 東京歯科大学大学院歯学研究科(歯科保存学専攻)修了 博士(歯学)  
東京歯科大学歯科保存学第三講座助手
- 2003年 医療法人亀山歯科医院 副院長
- 2008年 東京歯科大学保存修復学講座講師
- 2010年 ベルギー王国立ルーヴェン・カトリック大学客員研究員
- 2012年 東京歯科大学千葉病院総合診療科准教授以降、口腔健康臨床科学講座(水道橋病院総合歯科)歯科保存学講座
- 2017年 東京歯科大学保存修復学講座准教授

- ・日本歯科保存学会 評議員 専門医・指導医
- ・日本レーザー歯学会 代議員 専門医・指導医
- ・日本歯科理工学会 デンタルマテリアル・シニアアドバイザー
- ・日本接着歯学会 代議員 認定医
- ・日本歯科東洋医学会 理事 専門医
- ・日本口臭学会 理事 専門医
- ・日本総合歯科学会 認定医



## インプラントアドバンスセミナー

東京歯科大学同窓会

## 「前歯部審美領域におけるインプラント埋入の極意」

前歯部など審美領域にインプラント治療を取り入れている先生方にとって、この部位へのインプラント埋入は、骨量が十分に得られない、埋入後の歯肉の変化が心配、隣在歯との歯間乳頭はどう回復させるの、抜歯後の埋入のタイミングやその時どんなことに注意したらいい、など頭を悩ますことは多いのではないのでしょうか。今回、そんな審美領域におけるインプラント埋入術の知識やコツ、テクニックを、講演と実習を通して習得して頂ける1.5日のアドバンスセミナーを企画致しました。インプラント治療を日頃から取り入れ、さらにステップアップしたいと考えている先生方、必ずや臨床の大きなヒントや思い悩んでいたことが解決する、そんな本セミナーをぜひ受講下さい！

講師：小濱 忠一 (福島県開業)  
 日時：9月28日(土) 13:00～18:00  
 29日(日) 9:00～16:00  
 場所：東京歯科大学 水道橋校舎新館11F  
 定員：30名  
 受講料：15万円(器材費込)  
 13万5千円(前年度同窓会費納入者)



講演内容

- ・ 審美領域への埋入のポイント
- ・ 骨量の少ない場合の対処法
- ・ パピーラの扱い方
- ・ 抜歯即時埋入のポイント
- ・ 歯肉の改善を考慮した上部構造の作製法
- ・ 歯科用骨補填材、人工骨代用骨の現状

実習内容

- ・ 上顎前歯部へのインプラント埋入実習(模型にて)
- ・ 骨量のない部位への骨再生療法実習(模型にて)

※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。



お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

## インプラントアドバンスセミナー

ふりがな	出身校 (	大学)
ご氏名	(	年卒)
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)	
住所	〒	
	TEL	FAX
	E-mail	
ご勤務先名		

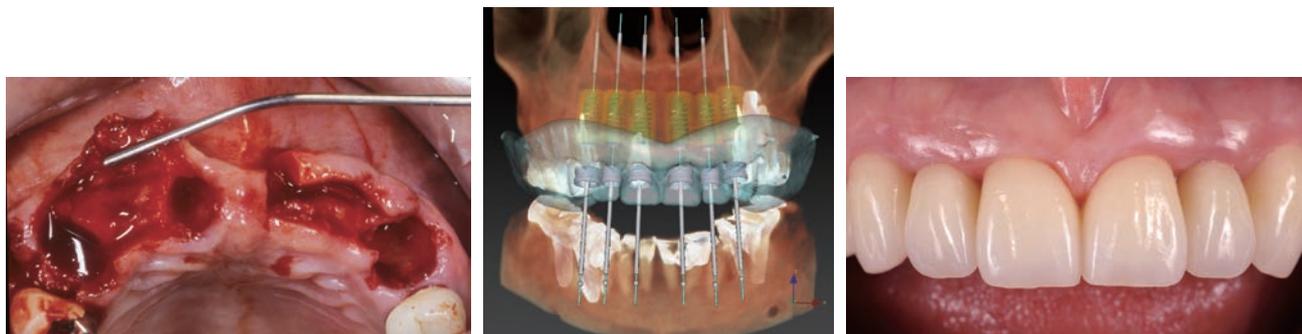
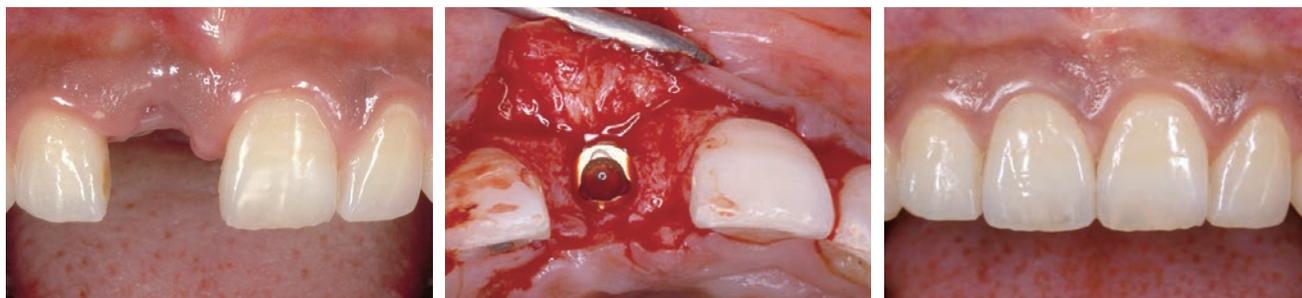


## 小濱忠一

1981年 日本大学松戸歯学部卒業  
日本大学 歯内療法学教室入局  
1984年 原宿デンタルオフィス勤務  
1986年 小濱歯科医院開業  
2006年 日本大学客員教授  
2011年 医療法人社団翔悠会 小濱歯科医院設立

インプラント審美修復の成功とは、適切な歯冠形態と色調の再現はもとより、隣接そして同名天然歯とのインプラント周囲組織の調和を図ることである。しかし、硬・軟組織の吸収やインプラント特有の生物学的リスクファクターの存在が天然歯修復以上に難易度を高く、複雑にするため、審美的に好ましくない結果を招く場合が多いのも事実である。審美領域における術者サイドの不十分な治療計画は、時として大きな外科的・補綴的トラブル、しいては治療期間の無駄な延長を引き起こしてしまう。要するに、さまざまなリスクファクターに対応するための最適な外科的・補綴的治療概念と治療戦略を選択することが、治療ゴールの達成には不可欠である。さらにCTやCAD/CAMをはじめとするデジタル化が進み、より正確な診査情報のもと、より精度の高い外科処置や補綴物作製が可能になったことも、インプラント治療の成功に有効利用すべきである。

そこで、本講演では、まず抜歯即時埋入の長期的な検証からの優位性と最適な外科的治療概念と戦略、さらに、抜歯後の歯槽骨の吸収に伴い、大なり小なりの水平および垂直的な造成が余儀される症例に対しての最適な外科処置、そして補綴処置に対するデジタル化の有効性についても併せて解説したい。



# 救急医療教育セミナー

東京歯科大学同窓会

臨床セミナー  
実習型

救急医療教育セミナー

## 「患者さんが急変したとき、あなたは何ができますか」 ～ SimMan™ を使用した救急トレーニング～

人口の高齢化に伴い、有病者の歯科診療の割合も増加してきています。日々の臨床において患者さんの全身状態を把握することは我々歯科医師の責務であります。しかしその一方で、歯科診療時における突発的な事故や急変事例も報告されており、対策として一次救命処置 (BLS) や二次救命処置 (ACLS) のトレーニングコースが開催されていますが、歯科に特化した救急トレーニングは多くありません。

そこで今回、歯科独特の偶発症を理解し、予期せぬ事態に迷わず対応できるようになるノウハウを画期的な完全ワイヤレスの次世代患者シミュレーター SimMan™ (Leardal社製) を使用してリアルに訓練するセミナーを企画しました。

歯科診療時の救急現場において重要な時間管理、意思決定、スタッフとのコミュニケーションをとることを、全国歯科大学で唯一東京歯科大学のみが所有している SimMan™ を患者モデルとして使用して対応法を訓練し、いざという時にあわてない歯科医師であるための準備をしませんか。

\*実習が主体のセミナーです。当日は動きやすい服装でご受講ください。

講師：鈴木 昌 (東京歯科大学 市川総合病院救急科)  
小鹿恭太郎 (東京歯科大学 市川総合病院麻酔科)

日時：① 6月2日(日) 9:30～16:30  
② 10月20日(日) 9:30～16:30  
(①②のどちらか1日を選択)

場所：東京歯科大学市川総合病院 スキルスラボ

定員：①、②ともに各8名

受講料：5万円(器材費込)

4万5千円(前年度同窓会費納入者)



- 実習内容
- ・一次救命処置と AED  
気道確保と呼吸の評価  
静脈確保  
心電図モニター実習
  - ・二次救命処置 ( SimMan™ を使用した実習)  
偶発症に対応する実習 ( SimMan™ を使用した実習)



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

救急医療教育セミナー		受講希望日	<input type="checkbox"/> 6月2日	<input type="checkbox"/> 10月20日 (どちらか○をご記入下さい)
ふりがな	出身校 ( 大学)			
ご氏名	( 年卒)			
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)			
住所	〒			
	TEL	FAX		
	E-mail			
ご勤務先名				

市川総合病院



## 鈴木 昌

1992年 慶應義塾大学医学部卒業  
 1992年 慶應義塾大学病院研修医  
 2011年 慶應義塾大学講師 (医学部救急医学)  
 2017年 東京歯科大学教授  
 市川総合病院救急科部長

日本救急医学会評議員 専門医・指導医  
 日本内科学会評議員 認定医制度審議会専門委員  
 救急委員会委員長 専門医  
 米国内科学会上級会員



## 小鹿恭太郎

2006年 東京歯科大学卒業  
 2006年 東京歯科大学千葉病院臨床研修歯科医  
 2011年 東京歯科大学博士号 受領 (歯科麻酔学)  
 2011年 東京歯科大学市川総合病院麻酔科  
 臨床専修医  
 2011年 東京歯科大学歯科麻酔学講座助教  
 2012年 東京歯科大学市川総合病院麻酔科助教  
 2017年 東京歯科大学市川総合病院麻酔科講師

日本歯科麻酔学会認定医・専門医

歯科領域の致命的偶発症には、心停止、急性心筋梗塞をはじめとした急性冠症候群、急性脳血管障害、アナフィラキシー、上気道閉塞などが挙げられます。人口構成の高齢化と医療環境の変化に伴い、これらの偶発症に遭遇する頻度は今後ますます高まることが予想されます。このため、歯科領域において致命的偶発症に対する生涯教育の充実が必要とされます。

しかし、致命的偶発症に遭遇することは稀であり、そして予期せず突然に遭遇することになります。したがって、実地臨床や知識を重視した座学によってその対応を学ぶことには限界があります。

そこで、このたびシミュレーション教育技法を用いた教育プログラムを準備しました。具体的には、基本的手技を各種シミュレーター (一次救命処置訓練用のマネキン、AEDトレーナー、気道管理用トレーナーなど) で訓練をしていただいた後、ビデオ映像を用いて各種病態の患者イメージを解説しながら仮想体験していただき、次にHigh fidelity simulator (SimMan™、Leardal社製) を用いて訓練を繰り返して行う実習内容となっております。



## 「超高齢社会で何が起きているのか」 ～変化する社会の中での歯科医療の役割は何か～

団塊の世代が後期高齢者になる2025年を目前に控え、超高齢社会における様々な歯科医療が迎える課題への対応が急がれております。我々が乗り越えなければならない課題は複雑化しており、単に歯科医療関係者の努力で解決できる課題ではありません。「多職種連携」「ソーシャルキャピタルの活用」「社会保障制度の維持」「人口減少時代での労働力の確保」などの他覚的な視点でのアプローチが求められております。

今回のフォーラムでは、複雑化した課題の全体像を把握するとともに、歯科と密接に関連する医療分野での取り組みを理解することで、我々が取り組むべき課題へのソリューションを探ることを目的といたしました。

歯科医師のみならず多くの職種の方々に参加していただきたいフォーラムです。

### 「超高齢社会への対応」 ～社会保障制度改革の視点～

江崎 禎 英 (経済産業省 政策統括調整官(兼)内閣官房健康医療戦略室 次長  
厚生労働省・医政局統括調整官)

### 「多職種連携と街づくり」

～医師会、歯科医師会、行政、地場産業との連携～

荒金 英 樹 (愛生会山科病院消化器外科部長/京滋 摂食・嚥下を考える会 代表)

### 「薬剤師がかわれば地域が変わる」

～かかりつけ薬剤師を中心とした多職種連携への取り組み～

狭間 研 至 (ファルメディコ(株)代表取締役社長/ (医) 嘉健会思温病院 理事長)

日 時：11月10日(日) 12:00～17:00

場 所：東京歯科大学 水道橋校舎新館11F

定 員：80名

参加費：2千円(学生、臨床研修医および卒後5年以内は無料)



※同窓会HP (<http://www.tdc-alumni.jp>) からWeb申し込みもできます。

お申し込み 東京歯科大学同窓会事務局 FAX 03-3264-4859

医療教養フォーラム	
ふりがな	歯科医師 ( ) 大学 ( ) 年卒 ( )
ご氏名	コ・デンタルスタッフ ( ) その他 ( )
ご連絡先	自宅・勤務先 (どちらかに○をしてください)
住所	〒
TEL	FAX
E-mail	
ご勤務先名	

\*満席の場合のみご連絡いたします。参加費は当日受付にてお支払い下さい。



### 江崎禎英

経産省商務・サービスグループ政策統括調整官  
兼 内閣官房健康・医療戦略室次長  
厚生労働省・医政局統括調整官

1964年 岐阜県出身。

1989年 東京大学教養学部卒業、通商産業省に入省 1996年英国サセックス大学外学院留学、EU（欧州委員会）勤務、帰国後、通商産業省に戻る

2005年 資源エネルギー庁にて地球温暖化問題を担当 2008年岐阜県に出向  
2012年 経済産業省に復帰、製造産業局生物化学産業 2015 商務情報政策局ヘルスケア産業課長  
2017年 経産省商務・サービスグループ政策統括調整官 兼内閣官房健康・医療戦略室次長



### 荒金英樹

京滋 摂食嚥下を考える会代表

1992年 京都府立医科大学医学部卒業、京都府立医科大学第一外科

1993年 済生会京都府病院外科

1996年 京都府立医科大学消化器外科

2000年 愛生会山科病院外科医長  
2004年 愛生会山科病院消化器外科部長



### 狭間研至

ファルメディコ株式会社 代表取締役社長  
一般社団法人 日本在宅薬学会 理事長  
医療法人嘉健会 思温病院 理事長

1969年 大阪府出身

1995年 大阪大学医学部卒業後、大阪大学医学部付属病院、大阪府立病院、宝塚市立病院院務

2000年 大阪大学大学院医学研究科（臓器制御外科）  
2004年 大阪大学大学院医学研究科修了後、現職

## Doctorbook academyにご登録下さい <https://academy.doctorbook.jp/>

インターネットウェブサービスを経由し、事業案内、学術情報をDoctorbookを利用して、動画による情報配信をしております。Doctorbook academyのサイトに、東京歯科大学同窓会の枠を設けております。ご登録の上、これから配信される同窓会事業PR、セミナー案内、トピックス、セミナー講演ダイジェストのコンテンツにご期待下さい。(サイトには、大学の他にスタディグループ、メーカー・プロダクトなど、様々な情報をご覧いただけます。)

### 登録方法 (登録無料)

1. 同窓会ホームページ上、Doctorbook バナーをクリック。
2. Doctorbook academy のアドレスをクリックして、そのサイトに移動します。
3. 新規登録をクリック。  
Doctorbook の 会員規約 に同意した上で、個人責任にて登録 を行って下さい。
4. 登録内容画面  
(氏名、メールアドレス、性別、パスワード、生年月日、歯科医師、医療機関名)
5. メールアドレスに、Doctorbook より登録の確認メールが届きます。(仮登録)
6. そのメール上で本登録を完了させて下さい。(本登録、確認のクリック)
7. 各自のメールアドレス、パスワードを入力し、ログイン。  
(東京歯科大学同窓会のコンテンツは、学会・大学の中にあります)

\* 「会員が登録した内容が Doctorbook academy の参加企業へ情報開示されます」 企業 PR 等の広告が届く場合があることをご了承下さい。

- 卒後研修** …………… 臨床研修医から若手歯科医師を対象に、診査診断、情報収集と記録、治療計画、予後予測、プレゼン方法を学び、生涯研修の基本を身につけることを目的としています。各研修会、症例検討会、ベーシックセミナーを通して、日常臨床の基本を学べます。
- 大学連携セミナー** …… 研究者から臨床医へ、東京歯科大学が文科省より選定された「私立大学ブランディング事業」研究成果を臨床医の先生方にわかりやすくお伝えいたします。
- 臨床セミナー** …………… すべての臨床医へ、基本手技から専門的知識と技術、先進医療など、臨床レベルの向上につながるセミナーを提供することを目的としています。セミナーを通じ、日常臨床のスキルアップ、臨床対応の選択肢が広がるよう、各専門的立場の先生方からお伝えいたします。
- 医療教養** …………… 若手歯科医師からベテラン歯科医師まで、教養学習を通して社会性や歯科医療倫理観を高めることを目的としています。講演会、研究発表、グループ活動報告などの情報発信を通して、歯科医療的課題について共に研鑽いたします。

## 卒後研修

毎月 第2水曜日	TDC 研修倶楽部
毎月 第3水曜日	デンタルスタッフミーティング
毎月 第4木曜日	卒研症例検討会

## 大学連携セミナー

5月12日(日)	「歯学研究最先端」～東京歯科大学「顎骨疾患プロジェクト」からの医療情報提供～ 講師：山口 朗(東京歯科大学 口腔科学研究センター) 阿部 伸一(東京歯科大学 解剖学講座) 齋藤 淳(東京歯科大学 歯周病学講座) 後藤多津子(東京歯科大学 歯科放射線学講座) 菅原 圭亮(東京歯科大学 口腔病態外科学講座) 小野寺晶子(東京歯科大学 生化学講座)
----------	--

## 臨床セミナー

5月26日(日)	小児口腔機能・食支援セミナー 「口腔機能の発達を紐解く～食べる・話す・呼吸する～」 講師：阿部 伸一(東京歯科大学 解剖学講座) 川口美喜子(大妻女子大学 家政学部食物学科) 大久保真衣(東京歯科大学 口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室) 立木 千恵(東京歯科大学 歯科矯正学講座)
7月21日(日)	歯周基本治療セミナー 「ハンドスケーラー VS 超音波スケーラー」～「最良」の歯周基本治療!!～ 講師：牧野 明(富山県開業) 大野 純一(群馬県開業)
6月30日(日)	ベーシックハンズオンセミナー 「すぐに役立つ臨床のコツ」～実践スキルの向上 補綴、矯正、ペリオ、口腔外科編～ 講師：学術委員
9月1日(日)	保存修復セミナー 「MIコンセプトの基づいたコンポジットレジン修復」 ～最小限の侵襲、適切な接着技法、きれいな充填を目指して～ 講師：村松 敬(東京歯科大学 保存修復学講座) 亀山 敦史(東京歯科大学 保存修復学講座)
9月28日(土) 29日(日)	インプラントアドバンスセミナー 「前歯部審美領域におけるインプラント埋入の極意」 講師：小濱 忠一(福島県開業)
6月2日(日) 10月20日(日)	救急医療教育セミナー 「患者さんが急変したとき、あなたは何かができますか」 ～SimMan™を使用した救急トレーニング～ 講師：鈴木 昌(東京歯科大学 市川総合病院救急科) 小鹿恭太郎(東京歯科大学 市川総合病院麻酔科)

## 医療教養

11月10日(日)	医療教養フォーラム 「超高齢社会で何が起きているのか」 ～変化する医療の中での歯科医療の役割は何か～ 講師：江崎 禎英(経済産業省 政策統括調整官(兼)内閣官房健康医療戦略室 次長) 荒金 英樹(愛生会山科病院 消化器外科部長) 狭間 研至(ファルメディコ代表 医師)
-----------	---

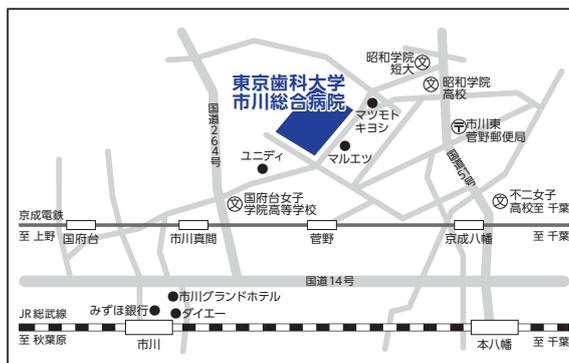
## 会場について

- 東京歯科大学水道橋校舎本館
  - 東京歯科大学水道橋校舎南棟
  - 東京歯科大学水道橋校舎新館
- JR「水道橋駅」東口下車（御茶ノ水寄り出口）  
都営三田線「水道橋駅」徒歩5分
- 東京歯科大学市川総合病院
- JR総武線「市川駅」下車 2番停留所より、京成バス「市川学園」行き（緑色表示）にて「市川総合病院」下車、約15分
- \* 駐車場は用意できません。車での来場はご遠慮ください。
  - \* セミナー会場は直前のご案内にてご確認ください。



## 受講申し込みについて

セミナーごとに申し込み用紙があります。  
所定の申し込み用紙に必要事項を記載の上、FAXにて送信いただくか、同窓会HPよりWebにてお申し込みください。  
FAX 03-3264-4859 (東京歯科大学同窓会事務局)  
<http://www.tdc-alumni.jp>



## 必要記載事項

- ①氏名・ふりがな
  - ②ご連絡先となる 郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、勤務先名
  - ③職種 歯科医師（出身大学・卒業年度）、臨床研修医（出身大学）  
歯科衛生士、コ・デンタルスタッフ、その他
- \* もれなくご記載ください。記載不備の場合、正式申し込みにならない場合があります。

## 申し込み時の注意事項について

### 臨床セミナー

- ・受付は先着順とし、お申し込み受付後、振込用紙（銀行・郵便局両用）をお送りいたします。
- ・振込用紙送付時に指定した期日までに受講料をご入金ください。
- ・受講料は消費税込みとなっております。
- ・入金の確認をもって受講受付完了とし、後日受講票および受講案内をお送りいたします。  
なお領収書は振込金受領証をもってかえさせていただきます。
- ・入金前にキャンセルをご希望の方は必ずご連絡ください。
- ・入金後の受講料のご返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。  
（ご欠席なされる場合は、代理の出席が可能です。）  
但し、主催側の事情により中止した場合は受講料の返金をいたします。
- ・プログラムの内容は、やむを得ず変更となる場合がありますので、ご了承ください。
- ・本セミナーは、日本歯科医師会の生涯研修事業に認定されております。研修登録用ICカードをお持ちください。

### 医療教養

- ・受付は先着順とし、受講票および受講案内の送付はございません。FAXあるいは同窓会HPよりお申し込みの上、セミナー当日、会場までお越し下さい。満席の場合はこちらからご連絡いたします。
- ・参加料は、セミナー当日受付にてお支払いください。

\* 東京歯科大学同窓会は、本セミナーの参加申し込みにより取得した個人情報を厳重に管理し、予めご本人の同意を得ることなく、第三者に提供することはありません。

東京歯科大学同窓会での個人情報の利用目的は下記の通りです。

1. 本セミナーの運営および、それにとまなうご連絡。
2. 東京歯科大学同窓会からの各種情報のご案内。

## 東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-9-18  
東京歯科大学同窓会事務局

TEL 03-6261-6631 FAX 03-3264-4859  
URL <http://www.tdc-alumni.jp>

